

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2025年度 パフォーマンス向上会議情報(2025年4月1日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2025年4月1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容 | グレード | 発見日 |
|----|---|------|-------|
| 1 | <p>【5号機補助海水ポンプ出口配管圧力検出器元弁の閉操作不能について】 当社運転員が、5号機補助海水系の弁点検準備のため、補助海水ポンプ出口配管の圧力検出器元弁を閉操作したところ、弁のハンドルが空回りすることを確認。 当該弁は、全開のままであるが、弁点検実施に影響なし。 また、通常開運用であるため、海水ポンプの運転に影響なし。 今後、当該弁を点検・交換予定。</p> | GⅢ | 3月26日 |
| 2 | <p>【既設多核種除去設備(B)供給ポンプ1B吐出流量指示不良について】 当社運転員が、既設多核種除去設備(B)の処理運転のため、供給ポンプ1Bを起動したところ、吐出流量指示値(通常7m³/h程度へ増加)が、0m³/hから増加しないことを確認。 移送元タンクの液位降下、及び移送先タンクの液位上昇があることから、吐出流量計の指示不良と判断。 既設多核種除去設備(B)について、処理運転を停止。他の多核種除去設備により、水処理は可能。 今後、吐出流量計の点検修理予定。</p> | GⅢ | 3月28日 |